

※敬称略

京都オープニング

松野博文部科学大臣によるフォーラム開会宣言によりスポーツ・文化・ワールド・フォーラムが始まります。藤原道山氏の尺八と京都市交響楽団メンバーによる弦楽四重奏, 京都大学・土佐尚子氏の映像作品(いけばな: 笹岡隆甫氏)によるコラボレーションがオープニングを盛り上げます。

日時 10月19日(水)10:00~10:30

会場 ロームシアター京都 メインホール

言語 日英同時通訳

登壇者



松野 博一
文部科学大臣



山田 啓二
京都府知事



門川 大作
京都市長



立石 義雄
京都商工会議所会頭
オムロン株式会社
名誉会長

文化会議 全体会

文化芸術に深い見識を有する国内外の著名人による基調講演を行うとともに、2020年に向けて文化振興の機運を盛り上げ、文化芸術立国を実現していくことを力強く世界に発信する「京都宣言(仮称)」を公表します。

日時 10月19日(水)10:45~11:45

会場 ロームシアター京都 メインホール

言語 日英同時通訳

登壇者

千 玄室
裏千家十五代・前家元
ユネスコ親善大使
日本・国連親善大使



山中 伸弥
京都大学iPS細胞研究所
所長 / 教授

等

文化会議 分科会

■文化芸術資源で未来をつくる～輝き続ける日本へ～

オリンピック・パラリンピックは、「スポーツの祭典」であるとともに、「文化の祭典」です。リオ大会後からは、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、全国各地で文化プログラムが開催されます。

本分科会は、「東京2020文化オリンピアド」や「beyond2020プログラム」の枠組みの下、全国津々浦々で文化プログラムの推進が進むよう、そのキックオフイベントとして、文化プログラムにつながる各地の意欲的な取組みと、文化プログラムの実施を通じて創出すべき文化的レガシー等について議論し、文化プログラムを全国展開していくための機運を醸成することを目指します。

日時	10月19日(水)14:30～17:00
会場	ロームシアター京都 サウスホール
言語	日英同時通訳

登壇者



秋元 雄史
東京藝術大学大学美術館館長・教授、金沢21世紀美術館館長



宮田 亮平
文化庁長官



茂山 逸平
大蔵流 狂言師



篠田 昭
新潟市長



フランシス ガーベット
オリンピック文化遺産財団理事長

パフォーマンス



ジェネシスオブエンターテイメント
(車いすダンス)



京都聖母学院小学校(合唱)
＋スペシャルゲスト

展示企画

アールブリュット展
(企画: 社会福祉法人グロー[GLOW]、ボーダレス・アートミュージアムNO-MA、社会福祉法人愛成会)

文化会議 分科会

■創造のためのアーカイヴ ～文化芸術資源の活用による新たな表現～

文化芸術が長年培ってきた様々な表現を、将来的に活用するには、次世代に向けた収集・保存・公開(＝アーカイヴ)の新たな取組が必要となります。

本分科会では、そのような取組を「創造のためのアーカイヴ」ととらえ、国内外で活躍するアーティストや研究者等による基調講演、パネルディスカッションを通じ、アーカイヴの手法や活用に関する議論を深め、文化芸術活動のさらなる進展を目指します。

日時 10月19日(水) 15:00～17:00

会場 京都文化博物館別館(重要文化財)

言語 日英同時通訳

登壇者



中谷 日出
NHK解説委員



宮川 一郎
クリエイティブ・ディレクター



田坂 博子
東京都写真美術館 学芸員

・アーカイヴに関して豊富な経験を持つ海外アーティスト(調整中)

等

文化会議 分科会

Culture induced Innovation

(文化が革新を創造する)～伝統と革新～

世界で活躍されているクリエイターによるパネルディスカッションを開催し、文化からイノベーションを起こすためにはどのような着眼点が必要か、文化のイノベーションが経済活動にどのような影響を与えるのかについて語っていただきます。世界との交流を通じて日本の文化を発信することに加えて、文化と産業が相互に影響を与え、創造的な活動を新たに生み出していくことを目指します。ディスカッションの前には演武を実施します。

日時 10月19日(水)15:00～17:00

会場 京都市武道センター 旧武徳殿(重要文化財)

言語 日英同時通訳

登壇者



河合 江理子
京都大学大学院
総合生存学館教授



キッグ・ヴィッド
INDEX: Design to
Improve Life® CEO



スプツニ子!
現代美術家
マサチューセッツ工科大学
メディアラボ助教



エリック・ラジェンドラ
金融コンサルタント
アドバイザー



細尾 真生
京都経済同友会副代表幹事
株式会社細尾代表取締役社長

合気道演武



ジャック・パイエ
無限塾代表
合気道養神館師範

文化会議 分科会

文化芸術活動を通じた多様性を尊重する社会の実現に向けて(仮称)

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、スポーツや文化芸術を通して、日本全体を盛り上げていく機運が高まる中、障害の有無にかかわらず、あらゆる人々が様々な場で文化芸術の創造・鑑賞活動に参加できる社会的包摂に係る取組を進めていくことが求められています。このため、オリンピック・パラリンピック・ムーブメントとともに文化芸術による社会的包摂の取組を進めていくことにより、多様性を尊重する社会の実現、ひいては芸術文化のさらなる発展へとつながるよう、内外の有識者をお迎えし、障害のある方々による芸術活動や障害のある方々に関わる活動をテーマとしたシンポジウムを開催します。

日時	10月21日(金)13:00~16:00
会場	国立新美術館 3階講堂
言語	日英同時通訳、手話通訳等あり

登壇者



宮田 亮平
文化庁長官



青木 保
国立新美術館館長



Photo by Micha Theiner
シーレイ ジェニー
グレイアイ・シアター・
カンパニー芸術監督



東 ちづる
女優・一般社団法人
Get in touch 理事長



日比野 克彦
アーティスト
東京芸術大学教授



Photo by Tsutomu Fujimoto.
森田 かずよ
ダンサー
NPO法人ピースポット・
ワンフォー理事長



山中 俊治
東京大学大学院
情報学環教授



野澤 和弘
毎日新聞論説委員